

「らしさ」輝く附属小



第14号 令和8年 7月 3日(金) 校長 森内 秀学

集会の企画や司会は、学校文化の手本です



「さあ、誰にしようかな?」という声が聞こえてきそうでしょう(左)。これは、6/26(金)に「全校なかよしチーム」が企画した「白熱! どちらが強い? 選択クイズ」の一場面です。みんなを盛り上げる企画内容や、気を引き付けながらもじらす司会進行は、大人顔負けの見事なものでした。

下級生にとって、上級生が考え出すユニークなアイデアやかっこいい姿は、まさにお手本。このような取組が積み重なることで、その学校ならではの子どもの文化が作られ、受け継がれていきます。

らんまん文化祭開催

4年生の学年目標は「らんまん」。その名を冠した「らんまん文化祭」が、6/26(金)に行われました(右)。出店あり出し物ありの文化祭は、昔行っていた「北斗祭」を彷彿とさせました。私が感心したのは、出し物が失敗しても進行が滞っても、誰も「やじらず、なじらない」子どもの様子です。こうした温かな雰囲気は、安心していろんなことに挑戦するための、大切な基盤となっていきます。



ネジバナも咲く7月

蘭の仲間であるネジバナ(左)が咲く季節になってきました。本校では、北斗の丘の、ピオトープのほとりに咲いています。その名のとおり、らせん状に花をつける姿はとてもかわいらしく、可憐です。でも子どもたちは、そんな花には目もくれず、トンボとカエルとメダカに夢中。今しか咲かない身近な蘭です。見つけてみませんか。